

令和6年度

第1回

八雲町地域包括支援センター運営協議会



日時：令和6年8月2日（金） 午後1時30分

場所：八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ第1・2会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 報告事項

- ① 令和5年度事業報告について P 1
- ② 令和5年度決算報告について P 7

(2) 協議事項

- ① 令和6年度事業計画について P 11
- ② 令和6年度収支予算について P 16
- ③ 介護予防ケアマネジメントの居宅介護支援事業者
への委託について P 20

4 その他

5 閉 会

(1) 報告事項

① 令和5年度 地域包括支援センター事業報告について

(1) 一般介護予防事業

○介護予防普及啓発事業

- ・まるごと元気運動教室【八雲地域・熊石地域】

NPO 法人ソーシャルビジネス推進センターに委託し、毎週火曜日、町内3か所で運動教室を実施した。

熊石	48回	実人数	25名	延人数	796名
落部	48回	実人数	13名	延人数	371名
八雲	48回	実人数	23名	延人数	721名

- ・高齢者栄養改善教室【熊石地域】

集いの場の参加者を対象に、3か所で開催し23名の参加があった。栄養士によるフレイルに関する講話やたんぱく質強化レシピの試食などを行った。

○住民主体の通いの場の充実

- ・いきいき百歳体操を活用した介護予防の普及【八雲地域】

実施	14か所	回数	261回	延べ参加人数	1,817人
----	------	----	------	--------	--------

- ・住民運営通いの場（ふまねっと運動も含む）【熊石地域】

実施	12か所	回数	147回	延べ参加人数	1,086人
----	------	----	------	--------	--------

○介護予防の普及啓発

- ・出前説明会【八雲地域】 5回 74名参加
- ・フレイル予防の普及啓発

栄養フレイル予防に特化した内容で、高齢者の低栄養を予防・改善するために活用できるレシピ等を全戸配布で3回情報提供した。

○高齢者向けIT講習会の開催【熊石地域】

- ・泊川集学校（リングロー株式会社）に業務委託し、町内3か所で開催した。介護予防、認知症予防、さらに災害情報や生活に役立てることができる情報ツールとしてスマートフォンの活用方法等を学び、延べ68の方が参加した。参加者には八雲町のLINE登録者もいたが、講座を通して新たな登録者を増やすことができた。

(2) 総合相談・権利擁護事業

高齢者が自らの権利を守り、尊厳ある自立した生活が送れるよう、様々な相談を受け適切なサービスや制度につなげた。

○相談者別件数

	八雲地域	熊石地域
本人	24	2
家族・親族	55	37
サービス事業所職員	20	6
議員・行政職員	34	0
民生委員等	7	0
その他	15	14
合計	155	59

○相談内容（受付分類） 重複あり

	八雲地域	熊石地域
介護保険申請	28	33
居宅サービスに関わること	60	24
施設サービスに関わること	6	4
保健・福祉サービスに関わること	18	5
実態把握・訪問依頼	16	0
福祉用具・住宅改修関係	13	4
医療・保健関係	8	2
その他	64	21
合計	213	93

○高齢者虐待への対応

	養護者虐待	養介護施設虐待
通報件数	2 件	1 件
虐待件数	1 件	1 件

○サービス未利用者の訪問【八雲地域】

介護保険更新申請のタイミングで訪問し、制度の説明、サービスの利用の必要がないかなどのアセスメントを実施した。（58名）

訪問の結果、継続的な介護保険サービスにつながった方がいた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

高齢者や障がい者が自らの権利を守り、尊厳ある自立した生活を送るためには、医療機関とサービス事業者、在宅と施設など様々な機関、職種の連携が必要不可欠であることから、これらの連携を図り、高齢者の状況や変化に応じて継続的に対応できるケアマネジメント体制の構築を図る。

○介護支援専門員等からの相談【八雲地域】 相談件数 4件

○地域ケア会議ケアマネジャー部会の開催【八雲地域】

八雲地域のケアマネジャーの連携を図るため、八雲町自立支援協議会相談部会と合同で、6回実施した。

○地域ケア会議

【八雲地域 5回開催、熊石地域 12回開催】

両地域ともに事例検討や情報交換を開催した。また介護サービス事業所の質の向上を図るため研修会を実施した。

○介護従事者学習支援事業【熊石地域】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。

(4) 介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

要支援認定者への介護予防サービス計画を作成した。なお事業の一部を居宅介護支援事業所に委託し実施している。

○介護予防サービス計画作成者数（給付管理 延べ件数）

		介護予防支援	介護予防ケアマネ
八雲地域	包括	689	292
	委託	361	62
熊石地域	包括	188	202
	委託	0	0
合計		1,238	556

○事業対象者への支援（ケアマネジメントC）

給食サービスや訪問型サービスC希望者へのアセスメントを実施した。

【八雲地域】 0名 【熊石地域】 2名

(5) 認知症総合支援事業

○認知症カフェの実施

【八雲地域】

実施	12回	延べ参加人数	24人	場所	cafe ラフモ
----	-----	--------	-----	----	----------

【熊石地域】

実施	22回	延べ参加人数	83人	場所	個人宅
----	-----	--------	-----	----	-----

○認知症初期集中支援推進事業

対象者なし

○世界アルツハイマー月間に合わせたポスター展の開催

国では9月をアルツハイマー月間と位置付け、様々な取組が行われており、八雲町においては、図書館で認知症の普及啓発を目的にポスター展を開催し、認知症に関する書籍の展示、資料の配布を行った。

開催期間：11日間、閲覧者数：75人

○認知症の理解と予防講演会の開催

まるごと元気運動教室を委託している NPO 法人ソーシャルビジネス推進センター、コープさっぽろと共催で講演会を開催した。

講師：小樽商科大学特任教授、NPO 法人ソーシャルビジネス推進センター理事長
相内 俊一 氏

【八雲地域】10月11日（水）（参加者数68人）

【熊石地域】10月12日（木）（参加者数43人）

(6) 任意事業（認知症対策）

○OSOS ネットワーク事業

認知症の高齢者や障がい者が行方不明となったときに、警察による捜索だけでなく、地域の協力機関や協力していただける個人が捜索に協力して、行方不明者を発見・保護する。

- ・事前登録者数 【八雲地域】高齢者 6名 【熊石地域】高齢者 1名
- ・登録解除者数 なし
- ・協力機関数 【八雲地域】52か所 【熊石地域】15か所
- ・捜索件数 1件

（9月21日に、障がいのある1名の方が行方不明となり、捜索依頼。同日無事発見。）

○認知症サポーター養成講座

国が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」を八雲町においても実施し「認知症サポーター」を養成した。認知症サポーターとは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域を作っていくボ

ランティアである。

地区	月 日	対象者	養成数
八雲地域	7月19日	落部長寿会	7名
八雲地域	12月6日	落部中学校	17名

○認知症家族の会への協力

- ・八雲町認知症の人を支える会「リフレッシュクラブ」

八雲地域の家族会はR4年度で道の家族会を脱退。R5年度はボランティア団体として活動したが、役員のみ手不足や会員間の考え方の違いなどからR5年度末で解散した。

- ・熊石介護者と共に歩む会「いがぐりの会」

総会・役員会 2回 定例事業（リフレッシュの集い他） 4回

(7) 生活支援体制整備事業

【八雲地域】

- ・協議体の開催 5回（委員12名）
- ・住民主体の通いの場の支援 2か所の新規開設
- ・栄町3区ラジオ体操の支援
- ・誰でも座れるイスプロジェクトの支援
- ・おとんおかんアート展の支援（やくも支え愛隊主催） 7回
- ・げんき食堂（地域食堂）の支援 9回

【熊石地域】

- ・協議体の開催 4回（委員6名）
- ・有償ボランティア「熊石サポートの会」事務局運営、広報活動
利用登録者は14名、協力者は9名で昨年に比べると登録者・協力者が増えた。
活動実績は27回、活動内容は、灯油や薪、荷物運び、草取りや畑の手伝い、窓ふき、神棚の掃除、ゴミ出し、軽微な修繕なども行った。
- ・サロン活動の推進
住民運営の通いの場の参加者と町内会、地域支え合い推進員が協力し、地区の方たちが楽しめるイベント「あいぬ〇しえ」を開催した。
- ・高齢者の活躍の場の創設
地域の高齢者が手作りした作品を期間限定で販売する「クマルシェ」を開催した。

(8) 介護マーク入り名札配布事業

介護者が要介護者の介護を行う際に周囲からの偏見や誤解を受けないよう、介護者に対し介護マーク入り名札を配布する。 【配布者数】 1名

(9) 成年後見制度利用支援事業

町長申立支援 【八雲地域 1件、熊石地域 1件】

後見人報酬の助成件数 3件

(10) 在宅医療・介護連携事業

地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することができる地域を作るため、在宅医療・介護連携に関する相談支援を行った。また八雲保健所と共催で研修会を開催した。

○北渡島檜山多職種連携協議会在宅療養を支える多職種のつどい

日 程：7月22日（土）

場 所：ふれあいセンターくまいし館

テーマ：耳の聞こえと補聴器との上手な付き合い方

講 師：北海道医療大学リハビリテーション科学部教授 才川 悦子 氏

参加者数：42名

(11) 地域リハビリテーション活動支援事業

介護予防を機能強化するために、リハビリテーション専門職の助言・指導を受ける。

・短期集中型訪問型サービス 【八雲地域 4名、熊石地域 13名】

・介護予防事業や集いにおける支援

熊石地域では、集いの場の参加者を対象に、3か所で28名の参加があり、フレイル予防講話や体操指導、体力測定などを行った。

八雲地域では、通いの場での体操指導や認知症カフェでのリハフラ体験を行った。

・ケアマネジャーや事業所への介護指導 【八雲地域 2回、熊石地域 5回】

・地域ケア会議における事例検討での助言や情報支援

【八雲地域 5回、熊石地域 12回】

(12) その他関係機関の事業への参加、協力

○小規模多機能型ホームやすらぎの里・ユニット型厚生園運営推進会議

○グループホームきずな運営推進会議

○八雲デイサービスセンター運営推進会議

○熊石デイサービスセンター運営推進会議

○緊急通報電話機設置事業打合せ会議

○北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会

報告事項②令和5年度決算報告について

令和5年度 八雲地域包括支援センター 決算

(歳入)

【単位 千円】

科目	保険事業勘定 地域支援事業分														
	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネシメント事業費		一般介護予防事業		生活支援体制整備事業				
年度	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比
国庫支出金	998	1,739	741	1,494	2,575	1,081	114	78	-36	534	466	-68	2,986	1,917	-1,069
道交出金	499	869	370	747	1,287	540	57	36	-21	267	215	-52	993	958	-35
支払基金	0	0	0	0	0	0	123	78	-45	576	465	-111	0	0	0
町繰入金	5,343	3,654	-1,689	8,072	5,408	-2,664	162	97	-65	759	577	-182	1,180	2,105	925
合計	6,840	6,262	-578	10,313	9,270	-1,043	456	289	-167	2,136	1,723	-413	5,159	4,980	-179

(歳出)

科目	保険事業勘定 地域支援事業分														
	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネシメント事業費		一般介護予防事業		生活支援体制整備事業				
年度	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,093	2,992	-101
給料	3,306	3,305	-1	4,396	4,395	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員手当等	1,942	1,687	-255	3,127	2,726	-401	0	0	0	0	0	0	1,150	1,150	0
共済費	1,583	1,268	-315	2,311	1,799	-512	0	0	0	0	0	0	757	717	-40
報償費	0	0	0	50	0	-50	0	0	0	308	0	-308	150	120	-30
旅費	0	0	0	31	0	-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
需用費	5	1	-4	158	121	-37	16	8	-8	85	20	-65	9	1	-8
役務費	4	1	-3	201	190	-11	0	0	0	73	53	-20	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0	0	440	281	-159	1,670	1,650	-20	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	39	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6,840	6,262	-578	10,313	9,270	-1,043	456	289	-167	2,136	1,723	-413	5,159	4,980	-179

* 予算額は補正及び流用後の最終予算額とした。

令和5年度 八雲地域包括支援センター 決算

(歳入)

【単位 千円】

科目	保険事業勘定			サービス事業勘定								
	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比
年度	4,212	3,480	-732	2,551	2,185	-366	0	0	0			
国庫支出金	1,960	1,740	-220	1,275	1,093	-182	0	0	0			
道交出金	0	0	0	5,048	4,712	-336	0	0	0			
介護報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
町線入金	4,014	3,820	-194	2,799	2,398	-401	0	0	0			
合計	10,186	9,040	-1,146	11,673	10,388	-1,285	0	0	0	0	0	0

(歳出)

科目	保険事業勘定			サービス事業勘定								
	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比
年度	4,799	4,799	0	4,158	4,158	0	0	0	0			
給料	2,672	2,387	-285	2,487	2,173	-314	0	0	0			
職員手当等	2,440	1,850	-590	2,125	1,651	-474	0	0	0			
共済費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
需用費	28	4	-24	107	69	-38	0	0	0			
役務費	6	0	-6	726	726	0	0	0	0			
委託料	241	0	-241	2,070	1,611	-459	0	0	0			
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
備品購入費	0	0	0	0	0	0						
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
公課費	0	0	0	0	0	0						
合計	10,186	9,040	-1,146	11,673	10,388	-1,285	0	0	0	0	0	0

*予算額は補正及び流用後の最終予算額とした。

令和5年度 熊石地域包括支援センター 決算

(歳入)

【単位 千円】

科目	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネジメント事業費			一般介護予防事業費			生活支援体制整備事業		
	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比
年度	992	532	-460	3	1	-2	57	11	-46	224	180	-44	3,978	17	-3,961
国庫支出金	495	266	-229	2	0	-2	28	5	-23	111	83	-28	1,489	9	-1,480
道支出金	0	0	0	0	0	0	61	10	-51	255	179	-76	0	0	0
支払基金	5,306	1,119	-4,187	17	1	-16	80	14	-66	325	233	-92	2,269	20	-2,249
町繰入金	6,793	1,917	-4,876	22	2	-20	226	40	-186	915	675	-240	7,736	46	-7,690
合計															

(歳出)

科目	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネジメント事業費			一般介護予防事業費			生活支援体制整備事業		
	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比	予算額	決算額	対比
年度	3,375	974	-2,401	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,590	0	-3,590
職員手当等	1,787	437	-1,350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,217	0	-2,217
共済費	1,626	502	-1,124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,851	7	-1,844
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	30	-30
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
需用費	5	4	-1	5	2	-3	36	6	-30	415	266	-149	15	9	-6
役務費	0	0	0	17	0	-17	60	34	-26	48	45	-3	3	0	-3
委託料	0	0	0	0	0	0	130	0	-130	445	357	-88	0	0	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0
合計	6,793	1,917	-4,876	22	2	-20	226	40	-186	915	675	-240	7,736	46	-7,690

*予算額は流用後の最終予算額といた。

令和5年度 熊石地域包括支援センター 決算

(歳入)

【単位 千円】

科目	サービス事業勘定											
	予算額	決算額	対比	対比	予算額	決算額	対比	対比	予算額	決算額	対比	対比
介護予防支援事業費	3,741	3,203	-538	0	0	0	0					
国庫支出金	1,871	1,602	-269	0	0	0	0					
道支出金	582	854	272	6,392	6,942	550						
介護報酬	4,105	3,518	-587	2,130	1,329	-801						
町線入金	10,299	9,177	-1,122	8,522	8,271	-251	0	0	0	0	0	0
合計												

(歳出)

科目	サービス事業勘定											
	予算額	決算額	対比	対比	予算額	決算額	対比	対比	予算額	決算額	対比	対比
介護予防支援事業費	4,743	4,742	-1	4,512	4,416	-96						
報酬	2,942	2,503	-439	0	0	0						
給料	2,462	1,916	-546	1,777	1,776	-1						
職手当等	0	0	0	1,132	1,044	-88						
共済費	0	0	0	98	97	-1						
旅費	22	16	-6	89	31	-58						
需用費	0	0	0	58	52	-6						
役務費	130	0	-130	0	0	0						
委託料	0	0	0	797	797	0						
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0						
備品購入費	0	0	0	0	0	0						
負担金補助及び交付金	0	0	0	59	58	-1						
合計	10,299	9,177	-1,122	8,522	8,271	-251	0	0	0	0	0	0

(2) 協議事項

① 令和6年度 地域包括支援センター事業計画について

(1) 一般介護予防事業

○介護予防把握事業

- ・介護予防教室や誕生日訪問等の訪問活動を通じて、何らかの支援が必要な方を把握し介護予防事業へつなげる。

○介護予防普及啓発事業

・まるごと元気運動教室【両地域】

毎週火曜日 熊石、シルバープラザ、落部で、NPO 法人ソーシャルビジネス推進センターに委託して実施する。(年48回)

・高齢者栄養改善教室【熊石地域】

住民主体の通いの場を利用して、栄養講話など3か所で実施する。

・フレイル予防の普及啓発【熊石地域】

栄養フレイルを中心に、実践しやすいようにレシピやフレイル予防に関する情報提供を行う。全戸配布3回予定。

○高齢者IT講習会の開催【熊石地域】

- ・介護予防や認知症予防の方法、さらには災害情報や生活に役立つ情報ツールとしてスマートフォンの使い方を学ぶ講習会を開催する。

○住民主体の通いの場の充実と支援

・地域サロンの充実、支援

地域サロン活動の継続と活性化を図るため、住民主体の通いの場づくりの促進を図る。

- ・各地区において、いきいき百歳体操やふまねっと、ドーミンリハ体操を活用し住民が主体的に取り組めるよう体制づくりを行っていく。

- ・介護予防の強化を図るため、栄養士や保健師、リハビリ専門職による講話や実技を行い、集いの参加者へのフレイル予防を行っていく。

(2) 総合相談・権利擁護事業

高齢者が自らの権利を守り、尊厳ある自立した生活が送れるよう、様々な相談を受け適切なサービスや制度につなげる。また虐待の早期発見・防止、消費者被害防止、成年後見制度の活用と住民への制度普及啓発を行う。

○各種相談の受付・対応

○サービス未利用者への訪問【八雲地域】

介護保険の更新申請のタイミングで訪問し、制度の説明、サービス利用の必要が

ないかなどのアセスメントを行う。

○高齢者虐待への対応

マニュアル等を活用し、適切な対応を行う。

○介護給付対象者のうち住宅改修や福祉用具購入など給付管理対象外サービスのみの利用希望の方への対応

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

高齢者等が自らの権利を守り、尊厳ある自立した生活を送るためには、医療機関とサービス事業者、在宅と施設など様々な機関、職種の連携が必要不可欠であることから、高齢者の状態に応じ継続的に対応できるケアマネジメント体制の構築を図る。

○介護支援専門員への支援

困難事例の事例検討会の開催、サービス担当者会議への参加等

○地域ケア会議の開催（八雲地域2月1回、熊石地域月1回）

○地域ケア会議ケアマネジャー部会の開催【八雲地域2月1回】

○介護従事者学習支援事業の開催【熊石地域】

在宅・施設・医療関係者を対象に研修会を開催する。

(4) 介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

要支援認定者及び事業対象者（基本チェックリスト該当者）への介護予防サービス計画を作成する。なお介護予防支援については、介護保険法の改正により居宅介護支援事業所が町の指定を受けて事業を直接実施できるようになった。

給付管理件数見込（一月）		介護予防支援	介護予防ケアマネ
八雲地域	包括	56	28
	委託	38	9
熊石地域	包括	15	18
	委託	1	1

*委託先居宅介護支援事業所数

【八雲地域】3箇所（町内3箇所）

(5) 認知症総合支援推進事業

○認知症初期集中支援チーム

認知症の方やその家族に対し、早期に関わり、適切な支援を八雲総合病院、熊石国保病院と連携し実施する。

○認知症カフェの実施

地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を設置し、認知症の相談支援に應じるほか、認知症の方やその家族、またはこれらの人々を支える立場にある町民が、

身近な場所で交流して、介護のことや対応の悩みを語り合う場（認知症カフェ）を開催する。

【八雲地域】毎月第3月曜日、cafe ラフもにて開催

【熊石地域】当事者が参加しての認知症カフェを行う。月2回

（6）任意事業（認知症対策）

○認知症サポーター養成講座の開催

認知症に関する講座を開催し、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成する。

○SOSネットワークの運用

行方不明となる可能性のある方の事前登録を呼びかけるとともに、協力関係機関や協力員を増やすため、事業の周知を積極的に実施する。

○認知症高齢者等見守りシール交付事業の導入

行方不明となった認知症高齢者の早期発見を図るため、見守りシールの交付を実施する。

○認知症家族の会の支援

熊石介護者と共に歩む会「いがぐりの会」の支援を行う。

○認知症ケア・パスの作成

認知症の人やその家族が、認知症の進行に合わせ、いつどこでどのような医療・介護サービスが受けられるのか、相談機関や受けられるサービスの内容などを記載した手引きを作成する。

○アルツハイマーデーを意識した認知症の普及啓発の実施

9月21日は世界アルツハイマーデーと制定されており、9月をアルツハイマー月間として全国で様々なイベントが開催されていることから、認知症の普及啓発を目的としたポスター展を実施する。

・場所 八雲町図書館 期間 2週間程度

（7）生活支援体制整備事業

高齢者の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく。

八雲地域では、社会福祉協議会に委託し事業を実施する。

○八雲地域

- ・協議体の開催
- ・「いきいき百歳体操」を活用した集いの場の支援
- ・「誰でも座れる椅子プロジェクト」の支援
- ・げんき食堂の開催支援

- ・やくも支え愛隊主催事業の支援（おとんおかんアート展）

○熊石地域

- ・協議体の開催
- ・有償ボランティア「くまいしサポートの会」の事務局運営・マッチング支援
普及啓発と利用促進のためお試しチケットの活用、協力者募集強化
- ・高齢者向けIT講習会の開催
- ・高齢者の活躍の場として「クマルシェ」の開催
- ・各集いの場において他機関等の交流やイベントの開催、活動充実・継続支援
- ・地域おこし協力隊による情報発信

（８）介護マーク入り名札配布事業

介護者が要介護者の介護を行う際に周囲から偏見や誤解を受けないよう、介護者に対し、介護マーク入り名札を配布する。

（９）成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の申立が必要な高齢者に対し、申立人がいない方への町長申立、低所得者への後見人等への報酬助成などを実施する。

（１０）在宅医療・介護連携事業

地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが出来る地域を作るため、関係機関からの相談に対応し、現状の把握、情報共有シートの利用状況等の把握、研修を通じ、他職種連携について学習する機会を作る。熊石地域では医療機関、施設、包括支援センターと高齢者の情報共有のため包括支援会議を再開し、継続的な高齢者支援を検討していく。

（１１）地域リハビリテーション活動支援事業

リハビリテーション専門職を活かした自立支援に資する取組を推進し、介護予防の機能強化を図るため八雲総合病院に業務委託して実施する。

- ・短期集中型訪問型サービスC
 - 要支援者や事業対象者に対し、自宅を訪問し生活機能に関する問題を総合的に把握、評価し、社会参加を高めるために必要な相談・指導等を実施する。
- ・地域ケア会議でのリハビリの観点から自立支援にむけた助言・情報提供
- ・フレイル対策強化のため、誕生日訪問事業を通じ、フレイルの早期把握やその後の支援方法について助言・指導
- ・ケアマネジャーへの助言指導
- ・介護予防教室や介護従事者への技術支援

- ・集いの場での体力測定や講話、体操指導

(12) 介護予防活動ボランティア育成事業【熊石地域】

- ふまねっとサポーターのフォローアップ研修の実施

ふまねっとサポーターが継続して活動できるよう学習の機会を作り支援を行う。

(13) その他関係機関の事業への参加、協力

- 道南認知症医療連携協議会への出席
- グループホームきずな運営推進会議への出席
- 小規模多機能型ホームやすらぎの里、ユニット型厚生園運営推進会議への出席
- 八雲デイサービスセンター運営推進会議への出席
- 熊石デイサービスセンター運営推進会議への出席
- 町内会や民生委員協議会・保健推進委員会との連携、協力
- 緊急通報電話機設置事業打ち合わせ会議の出席
- 北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会への出席

協議事項 ②令和6年度収支予算について

令和6年度 八雲地域包括支援センター 予算

(歳入)

【単位 千円】

科目	保険事業勘定						地域支援事業								
	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比			
	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネジメソト事業費			一般介護予防事業費			生活支援体制整備事業		
年度	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比
国庫支出金	1,219	998	221	1,780	1,494	286	140	114	26	732	534	198	4,910	2,986	1,924
道支出金	609	499	110	890	747	143	70	57	13	366	267	99	1,955	993	962
支払基金	0	0	0	0	0	0	152	123	29	790	576	214	0	0	0
田繰入金	4,971	5,343	-372	7,263	8,072	-809	200	162	38	1,039	759	280	3,292	1,180	2,112
合計	6,799	6,840	-41	9,933	10,313	-380	562	456	106	2,927	2,136	791	10,157	5,159	4,998

(歳出)

科目	総合相談・権利擁護事業費						包括的・継続的ケアマネ支援事業費						介護予防ケアマネジメソト事業費						生活支援体制整備事業					
	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比						
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,194	3,117	77						
給料	3,381	3,254	127	4,423	4,383	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
職員手当等	2,035	1,942	93	3,191	3,127	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,176	1,126	50						
共済費	1,368	1,635	-267	1,909	2,324	-415	0	0	0	0	0	0	0	0	0	811	757	54						
報償費	0	0	0	50	50	0	0	0	0	0	0	0	309	308	1	120	150	-30						
旅費	0	0	0	0	31	-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
需用費	5	5	0	167	158	9	16	16	0	83	85	-2	3	9	-6	3	9	-6						
役務費	4	4	0	193	201	-8	0	0	0	73	73	0	0	0	0	0	0	0						
委託料	0	0	0	0	0	0	546	440	106	2,462	1,670	792	4,853	0	4,853	0	0	0						
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
負担金補助及び交付金	6	0	6	0	39	-39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
合計	6,799	6,840	-41	9,933	10,313	-380	562	456	106	2,927	2,136	791	10,157	5,159	4,998									

*令和6年度の地域支援事業財源内訳
 国庫負担金 38.5%、道費負担金 19.25%、町費負担金 19.25% その他：支払基金交付金

令和6年度 八雲地域包括支援センター 予算

(歳入)

【単位 千円】

科目	保険事業勘定 地域支援事業			サービス事業勘定																
	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比														
年度	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比														
国庫支出金	4,126	4,212	-86	2,523	2,551	-28														
道支出金	1,882	1,960	-78	1,261	1,275	-14														
介護報酬	0	0	0	5,101	5,048	53														
田繰入金	3,774	4,014	-240	2,768	2,799	-31														
合計	9,782	10,186	-404	11,653	11,673	-20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(歳出)

科目	保険事業勘定 地域支援事業			サービス事業勘定																
	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比														
年度	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比														
給料	4,809	4,786	23	4,230	4,136	94														
職員手当等	2,728	2,672	56	2,575	2,487	88														
共済費	1,995	2,453	-458	1,788	2,147	-359														
報償費	0	0	0	0	0	0														
旅費	0	0	0	0	0	0														
需用費	9	28	-19	110	107	3														
役務費	0	6	-6	733	726	7														
委託料	241	241	0	2,122	2,070	52														
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0														
備品購入費	0	0	0	0	0	0														
負担金補助及び交付金	0	0	0	95	0	95														
公課費	0	0	0	0	0	0														
合計	9,782	10,186	-404	11,653	11,673	-20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和6年度 熊石地域包括支援センター 予算

(歳入)

【単位 千円】

科目	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネジメント事業費			一般介護予防事業費			生活支援体制整備事業		
	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比
年度	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比
国庫支出金	1,265	992	273	4	3	1	58	57	1	251	224	27	4,393	3,978	415
道支出金	632	495	137	2	2	0	29	28	1	125	111	14	1,697	1,489	208
支払基金	0	0	0	0	0	0	63	61	2	278	255	23	0	0	0
町繰入金	5,160	5,306	-146	16	17	-1	84	80	4	363	325	38	2,723	2,269	454
合計	7,057	6,793	264	22	22	0	234	226	8	1,017	915	102	8,813	7,736	1,077

(歳出)

科目	総合相談・権利擁護事業費			包括的・継続的ケアマネ支援事業費			介護予防ケアマネジメント事業費			一般介護予防事業費			生活支援体制整備事業		
	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比
年度	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比
給料	3,487	3,375	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,861	3,590	271
職員手当等	2,134	1,787	347	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,214	2,217	997
共済費	1,431	1,626	-195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,651	1,851	-200
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60	0
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
需用費	5	5	0	5	5	0	44	36	0	519	415	104	27	15	12
役務費	0	0	0	17	17	0	60	60	0	46	48	-2	0	3	-3
委託料	0	0	0	0	0	0	130	130	0	445	445	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0
合計	7,057	6,793	264	22	22	0	234	226	0	1,017	915	102	8,813	7,736	1,077

*令和6年度の地域支援事業財源内訳
 国庫負担金 38.5%、道費負担金 19.25%、町費負担金 19.25% その他：支払基金交付金・雑入

令和6年度 熊石地域包括支援センター 予算

(歳入)

【単位 千円】

科目	サービス事業勘定				6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比										
	6年度	5年度	対比	6年度																5年度
介護予防支援事業費	2,946	3,741	-795	0	0	0														
国庫支出金	1,473	1,871	-398	0	0	0														
道支出金	626	582	44	5,474	6,392	-918														
介護報酬	3,232	4,105	-873	2,958	2,130	828														
町線入金	8,277	10,299	-2,022	8,432	8,522	-90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計																				

(歳出)

科目	サービス事業勘定				6年度	5年度	対比	6年度	5年度	対比										
	6年度	5年度	対比	6年度																
介護予防支援事業費	0	0	0	4,665	4,567	98														
報酬	3,327	4,730	-1,403	0	0	0														
給料	2,757	2,942	-185	1,535	1,722	-187														
職員手当等	1,978	2,475	-497	1,125	1,132	-7														
共済費	0	0	0	98	98	0														
旅費	25	22	3	104	89	15														
需用費	0	0	0	56	58	-2														
役務費	130	130	0	0	0	0														
委託料	0	0	0	829	797	32														
使用料及び賃借料	0	0	0	20	59	-39														
負担金補助及び交付金	60	0	60	0	0	0														
備品購入費	8,277	10,299	-2,022	8,432	8,522	-90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計																				

協議事項③ 介護予防ケアマネジメントの居宅介護支援事業者

への委託について

1. 指定居宅介護支援事業者の介護予防支援の実施

介護予防支援については、令和6年4月より、居宅介護支援事業者が市町村長からの指定を受けて実施することが出来ることとなりました。

しかしながら介護予防ケアマネジメントについては、これまでどおり、地域包括支援センターからの委託によって実施しなくてはなりません。

介護予防支援の利用者が、予防給付の対象となるサービスを利用しなくなり、総合事業のサービスを利用する場合、介護予防ケアマネジメントとなり、地域包括支援センターからの委託を受ける必要があります。

委託する居宅介護支援事業所については、運営協議会の意見を聴くこととされております。

2. 介護予防支援の指定を受けている居宅介護支援事業所

事業所名	介護予防支援 利用者数	介護予防ケアマネジメント 利用者数
社会福祉法人湊仁会居宅介護支援事業所 やくも	22人	1名
八雲総合病院指定居宅介護支援事業所	5人	0名

3. 介護予防支援の指定を受けていない居宅介護支援事業者

事業所名	介護予防支援 利用者数	介護予防ケアマネジメント 利用者数
八雲町社協指定居宅介護支援事業所	9人	2人

(R6年6月末現在)

4. 居宅介護支援事業所への委託について

町としては、これまでどおり「介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント」として、両方の事業を合わせて委託する。

また今後、町外の居宅介護支援事業所に委託する場合についても、両方の事業を合わせて委託し、委託を行った場合には、運営協議会に報告を行います。

メ モ

Lined paper template with horizontal dashed lines.

